

ArcGIS 9

ArcPad 8.0 日本周辺投影ファイル設定ガイド



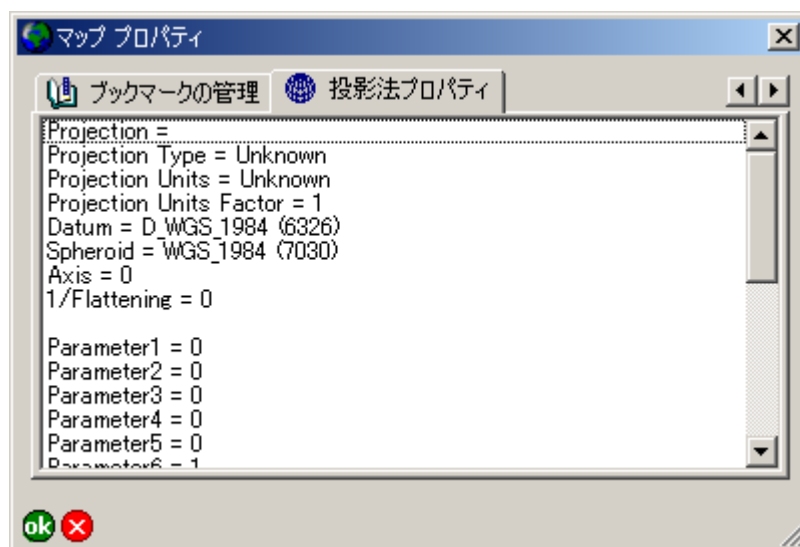
ArcPad 8.0 日本周辺投影ファイル設定ガイド

投影定義ファイル(Projection ファイル)のインストール

ArcPad で取得した、GPS 座標の測地系変換機能を正常に動作させるためには、レイヤがどの投影法、測地系を使用しているか明示しておく必要があります。この情報を記したファイルが投影定義ファイル(Projection ファイル)と呼ばれ、拡張子 prj で作成されているファイルとなります。「日本語ドキュメント Web ダウンロード版」には日本国内で使用されている prj ファイルが入っております。これらのファイルは、使用されるシェープファイルと同名で同ディレクトリ内に置くことによって、ArcPad に読み込まれます。

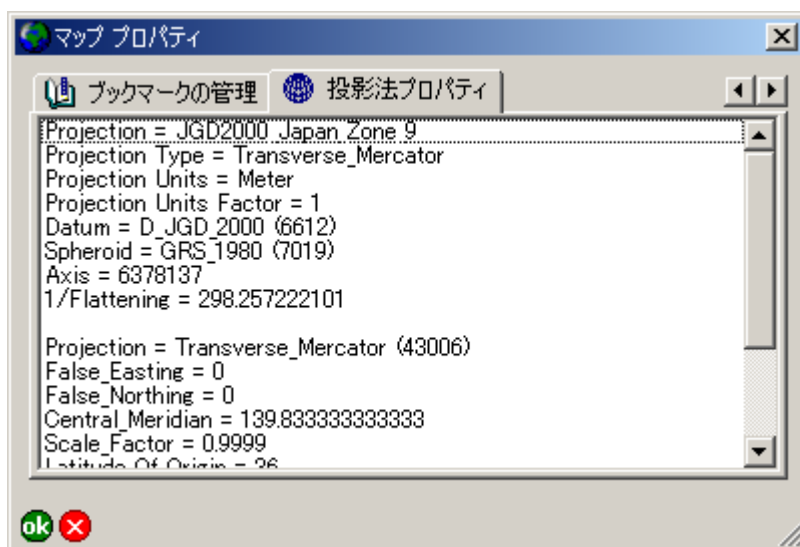
・prj ファイルがない場合

投影法が Unknown と表示されます。これは、投影法が不明であることを表します。



・prj ファイルを持っている場合

prj ファイル等で投影法が明示されているため、変換が可能。



測地系の変換機能について

ArcPad は GPS と連動して動作している場合、GPS から取得される位置座標データを異なる測地系を持つレイヤへ重ねて表示することが可能です。

例 GPS レシーバ(A 測地系で受信) + レイヤ(B 測地系で表示)

A 測地系で取得した位置データを変換し、B 測地系で表示されているレイヤに現在地を表示することが可能。

ArcPad は GPS レシーバがどの測地系でデータを出力しても、取得できるよう各国の測地系に対応しております。

※日本国内では GCS_Tokyo(日本測地系)に対応。

<ご注意>

受信する GPS のデータを GCS_Tokyo(日本測地系)に設定するためには、GPS レシーバが GCS_Tokyo でデータを出力している必要があります。WGS84 で出力する GPS レシーバを使用している場合は GPS の設定を WGS84 にします。この場合、レイヤに GCS_Tokyo のデータを使用しても ArcPad が WGS84→GCS_Tokyo の変換を行うため問題なく重なります。

投影定義ファイルのインストール

「日本語ドキュメントWebダウンロード版」内にある ArcPad フォルダ内の日本周辺座標系フォルダをコピーして、デスクトップ PC では<ArcPad インストール ドライブ>¥Program Files¥ArcPad 8.0¥Coordinate Systems 内に貼り付けます。

Windows Mobile デバイスでは、必要な投影法定義ファイル(.prj)をコピーし、My Documents フォルダ内に直接貼り付けます(または My Document フォルダ内に一階層の任意のフォルダを作成し、そのフォルダ内に投影定義ファイル(.prj)をコピーし、貼り付けます)。

使用方法

別紙「ArcPad 8.0 ツールガイド」をご覧ください。

その他の情報

ArcPad に関する最新情報、障害情報、修正情報に関しては、下記 URL の弊社サポート Web サイトでご確認いただけます。ぜひ、ご参照ください。

[URL] <<http://www.esri.com/products/arcpad/index.html>> 製品ページ

[URL] <http://www.esri.com/support/esri_index.jsp> サポートページ

ArcPad 8.0 日本版ガイド

2009 年 6 月 15 日

発行/編集所 ESRI ジャパン株式会社

E-Mail: gisinfo@esrij.com

本書は、ESRI ジャパン株式会社(日本 東京)が作成したマニュアルです。
このマニュアルの著作権、版権は ESRI ジャパン株式会社に帰属しております。
本文中に記載されている社名および製品名は各社の商標または登録商標です。